

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～美里町立中央中学校での実践～



【宇城教育事務所】

私の主張と親の主張、どちらも納得するには？ ～SNSの利用を通して～



メイン活動1「あなたは Yes or No？」

【講座の説明】

中央中学校（全校生徒・全保護者）の学校行事において、宇城教育事務所の社会教育主事（くまもと「親の学び」プログラムトレーナー）が、「次世代編Ⅱ プログラム5：私の主張と親の主張、どちらも納得するには？ ～SNSの利用を通して～」を参考にして講座を行いました。

【講座の日程等】

実施日：令和2年11月27日（金）
時間：5校時（14：30～15：20）
場所：美里町立中央中学校（体育館）
対象：全校生徒110名
保護者及び教職員71名
進行役：宇城教育事務所 社会教育主事
（くまもと「親の学び」プログラムトレーナー）

ある親子の会話から..

- ・SNSに夢中になりすぎて、ネット依存が心配。
- ・自分の思っていることや写真は、ネットに出さない方がいいのでは？
- ・事件も起きているし、SNSにキケンはないの？
- ・SNSで時間を取りすぎて、勉強やすいみん時間が短くなるのでは？

- ・スマホの使い方に、口出ししないでほしい。
- ・SNSに言葉や写真はあたりまえ。友達と話が合わなくなる。
- ・SNSを使って、友達や私のまわりで事件なんて聞いたことがない！
- ・勉強する時は、自分なりにきちんとしている。

※ SNSとは？ ライン・ツイッター・フェイスブック・（広い意味でブログも） など

講座用プレゼンから



実践校2人の教師によるロールプレイ



生徒と保護者が話し合う様子

【プログラムの実際】

- ① 講座の「目的」「学び方」について確認する。
 - ・「親の学び」プログラム次世代編の説明
- ② 「リラックスタイム（アイスブレイク）」
 - ・4つのお題をもとにした親子の話合い（※SNSに関するサイコロトークから4つ抜粋）
- ③ メイン活動1「あなたは Yes or No？」
 - ・考え方の多様性及び認識の共通理解
- ④ メイン活動2「どちらも納得できるようにするには？」
 - ・教師によるロールプレイ
 - ・親子で課題解決の方法を模索
- ⑤ SNS等が及ぼす影響に関する説明
 - ・SNSの利便性と危険性、同世代の使用状況
 - ・スマートフォン等による被害の事例紹介（※動画「スマホトラブル、うちの子だけは大丈夫？」）
- ⑥ メイン活動3「家庭のルールを考える」
 - ・熊本県及び美里町の取組について
 - ・自分が親（保護者等）になった時にどんなルールを作るか考える。
- ⑦ まとめ（「アメリカのある家庭のルール紹介」）
 - ・具体的なルールについて知り、今後に生かす。

【「親の学び」次世代編Ⅱ実施後のトレーナーのコメント】

- 実践校教師が親子役を演じてロールプレイすることで、保護者と生徒に現実感のある事例提示ができた。
- 事例「ある親子の会話から…」をもとに、生徒が親の立場で、親が生徒の立場で役割演技を行いながら、SNSの利用について話し合ったことで、生徒も親としての様々な考えや思いに寄り添うことができた。
- 映像資料（携帯電話会社制作）の活用により、興味を持ってプログラムに参加できていた。